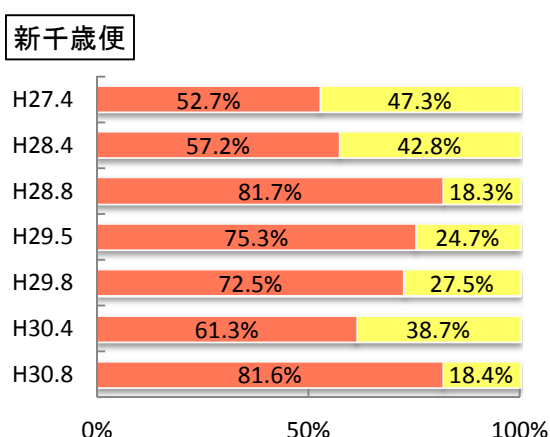
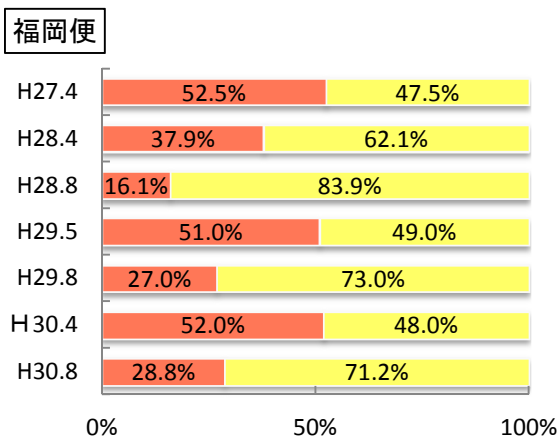
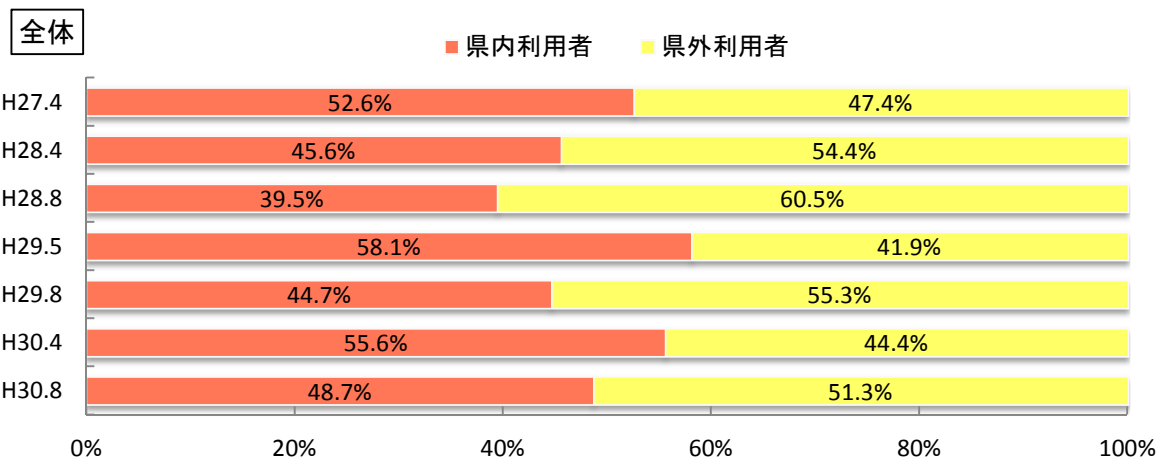


平成30年度 第2回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (新千歳便・福岡便) (平成30年8月21日～27日) における利用者の動向

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 実施期間 | 平成30年8月21日(火)～27(月) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 新千歳便 245票 福岡便 406票 合計 651票 |

【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が48.7%、県外利用者の割合が51.3%となった。
 路線別では、福岡便は、県内利用者の割合が28.8%、県外利用者の割合が71.2%となっており、過去の8月の調査同様、県外利用者の割合が高くなっている。
 一方、新千歳便では、県内利用者の割合が81.6%、県外利用者の割合が18.4%となっており、過去の調査と同様に県内利用者の割合が高くなっている。

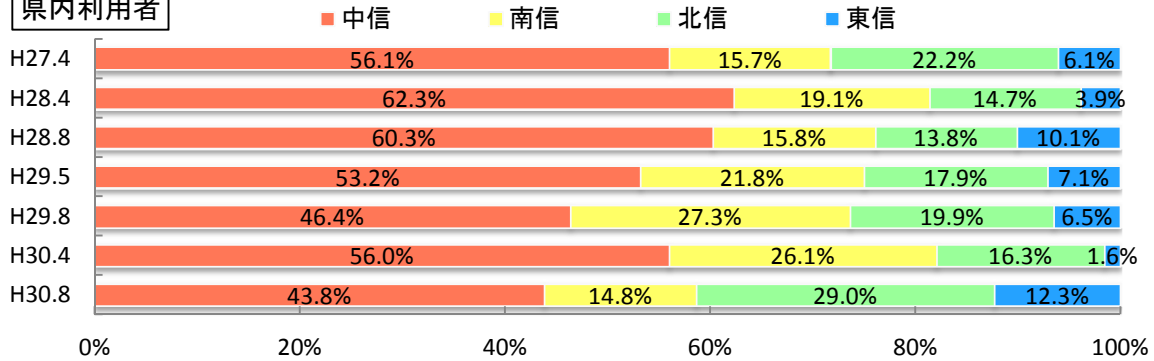


【利用者の居住地】

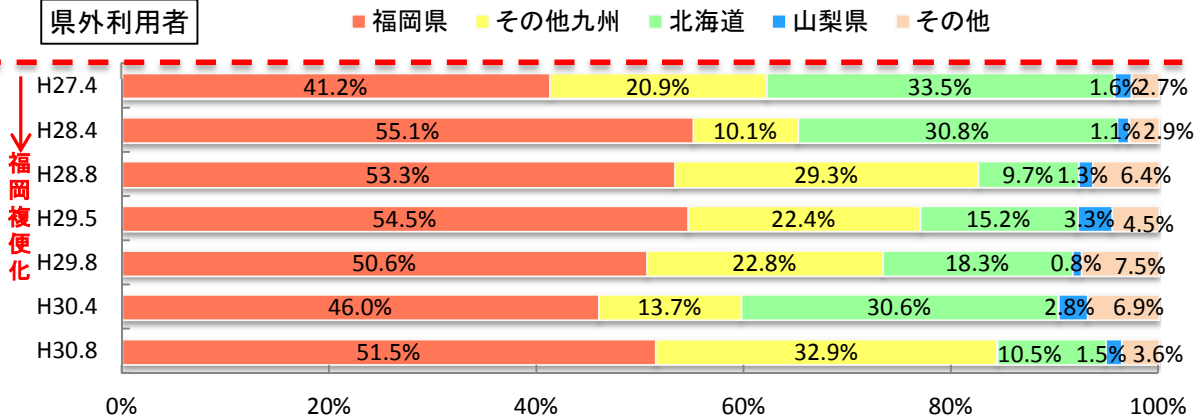
居住地別に見ると、県内利用者では中信が半数を割り込んだ一方で、北信が、昨年8月の調査と比較し9.1ポイント増の29.0%、東信も5.8ポイント増加したが、南信の利用者は12.5ポイント減少した。

県外利用者の割合を見ると、福岡県からの利用者は全体の51.5%、その他九州地区からの利用者は32.9%、北海道からの利用者は10.5%であった。また、隣県の山梨県からの利用者は1.5%という結果となった。

県内利用者



県外利用者



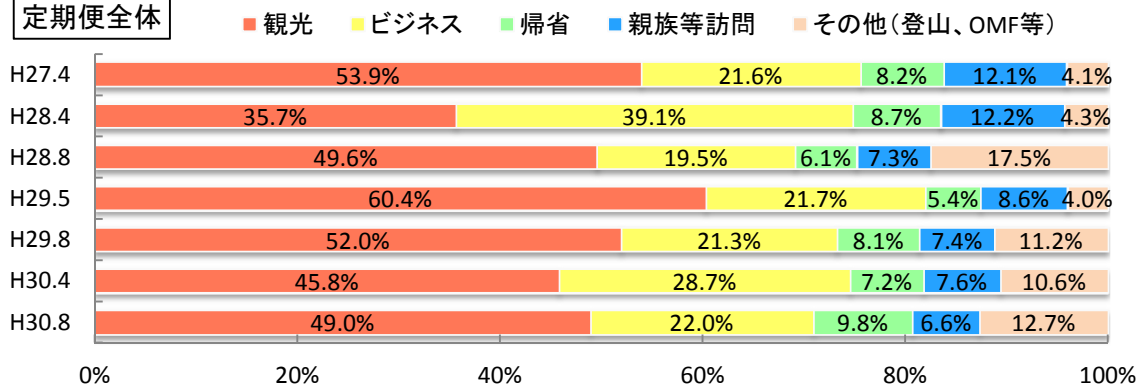
【旅行目的】

旅行目的については、定期便全体で、観光目的が49.0%、ビジネス目的が22.0%という結果となった。

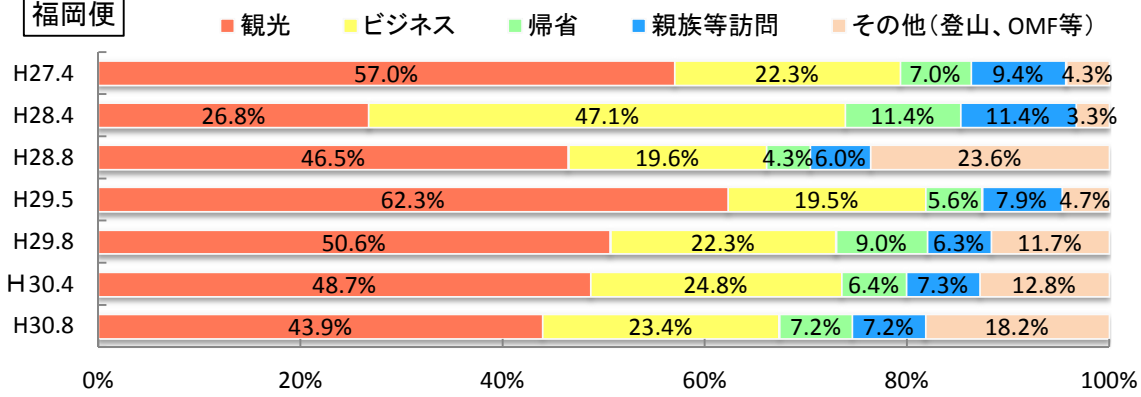
路線別に見ると、福岡便では観光目的が43.9%、ビジネス目的が23.4%であった。

新千歳便については、観光目的の割合が58.3%と、昨年8月の調査と比較し4.2ポイント増加した。

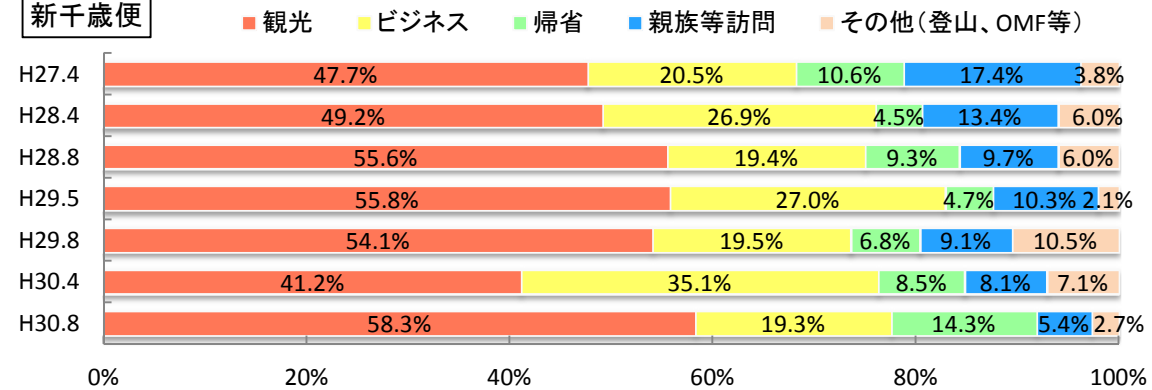
定期便全体



福岡便

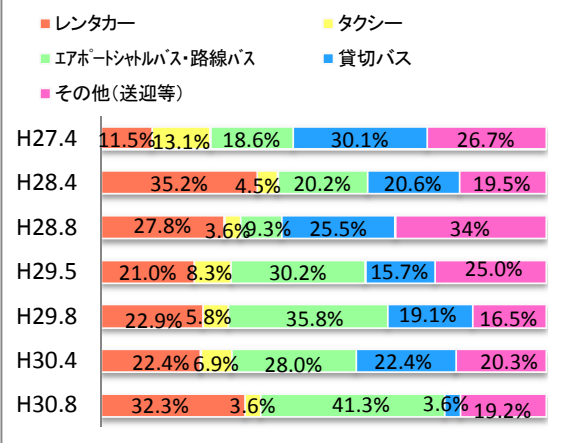


新千歳便

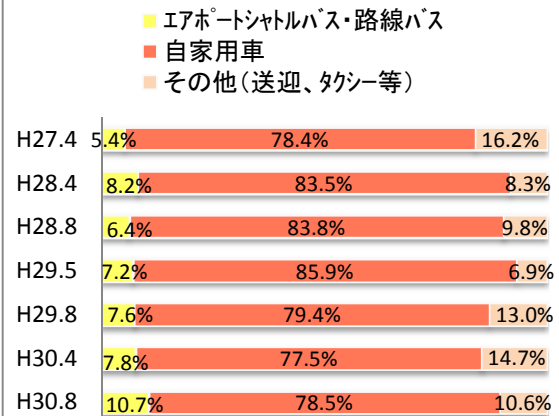


【参考:その他調査項目】

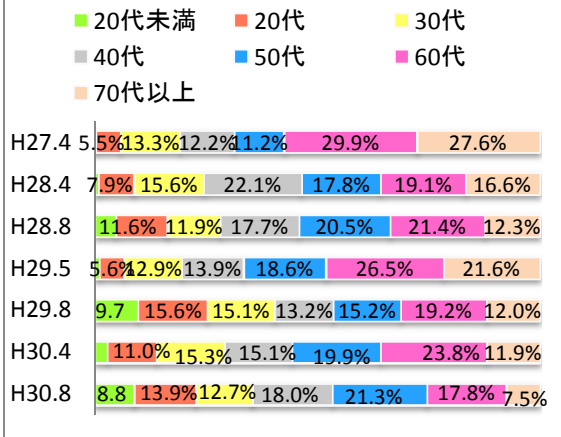
県外利用者 空港からの交通手段



県内利用者 空港までの交通手段



利用者年齢層



旅行日程

